

環境マネジメントシステム導入報告書

( 宛 先 ) 京 都 府 知 事	2011年 7月 26 日
住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地) 京都府京都市上京区堀川通寺之内4丁目天神北町1-1	報告者の氏名 (法人にあっては、名称及び代表者名) 大日本スクリーン製造株式会社 代表取締役社長 橋本 正博

環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	環境マニュアル (ISO14001, ISO50001/DIS)
適 用 範 囲	大日本スクリーン製造(株)の本社地区事業者、洛西事業所、久世事業者、久御山事業所ほか4事業所及び15グループ会社
導 入 年 月 日	ISO14001: 1997年2月26日、ISO50001: 2010年7月16日
認 証 番 号	ISO14001: EMS549649、ISO50001/DIS: ENMS562552
基 本 方 針	1. スクリーングループは、製品の開発、販売、サービス及び管理業務を行う事業を通じて、環境負荷の少ない製品を提供する。 2. 法令及び利害関係者との合意事項を順守し、環境汚染の防止を行う。 3. EMSを構築・維持し、以下の目標を定め定期的に見直し、環境負荷を継続的に改善する。 a) 地球温暖化防止及び省資源の推進 b) 環境適合設計及び物流プロセスの改善 c) グリーンマインドの向上 4. 環境保全活動を社員など関係者に周知し、環境保全への取り組みが重要な経営課題であると認識し行動する。 5. 環境理念・方針は社内外に公表する。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標 (以下「目標」という。)	以下は2010年度目標 1. エネルギー起因のCO2の生産高原単位を2009年度比1%削減する。 2. 社外排出物の生産高原単位を2009年度比1%削減する。 3. 新規導入のIT機器のグリーン購入率を90%以上とする。 4. グリーンプロダクツの売上高占有率を50%以上とする。 5. お客さま先の当社製品における環境負荷を、ロードマップに従って削減する。 6. 国内製品輸送にかかる燃料使用によるCO2の生産高原単位を2008年度比10%削減する。 7. グローバルの製品輸送にかかる環境負荷の把握。 8. 環境社会貢献活動の実施、全社環境教育体系に沿った教育の実施。 9. EMSとOHSMSの統合準備を行い、2011年度から運用する。
目標を達成するための取組の内容	1. 一斉退社日、エコデーの継続、昼休時の消灯、照明の間引き、冷房(28℃)・暖房(20℃)の厳守、未使用エリアの空調・照明の停止、冷温水発生機の更新、CR用温水ポンプ稼働時間の変更、事業所の再編(閉鎖等) 2. 通い箱・袋の活用、エアークャップ等梱包材の再利用、事業所再編(閉鎖)時の什器等の有効活用 3. 標準PCの設定・購入 4. 新製品での環境配慮設計(DfE)の実施、削減量の測定(推計) 5. ロードマップの作成・実施 6. モーダルシフト化、木枠梱包から強化ダンボール梱包へ(輸送重量の削減) 7. 算出ルールの策定 上記目標に関する実績値の見える化による省エネ・省資源の啓発
目標を達成するための取組の進捗状況	1. 継続実施中、冷温水発生機の更新(洛西事業所)、事業所の再編(久御山西工場・十条事業所・久世事業所の閉鎖) 2. 継続実施中、久御山西工場・十条事業所・久世事業所の閉鎖時の什器等を他事業所での有効活用 3. 継続実施中、 4. 新製品での環境配慮設計(DfE)の実施 5. ロードマップに従って活動中 6. 継続実施中、 7. 算出ルールの策定&一部データ収集 8. 小学生への体験学習、中学・高校・大学生の見学受け入れ、「TABLE FOR TWO」、ペットボトルキャップ回収運動への参加 9. 2011年4月から統合EHS(環境、エネルギー、労働安全衛生の統合)マネジメントシステム運用の開始
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	社外排出物の生産高原単位目標は、事業所の閉鎖・解体により生産高原単位が悪化し目標未達成となった。製品輸送時のCO2生産高原単位目標も、出荷先の関係でモーダルシフトが利用できなかったため生産高原単位が悪化し目標未達成となった。その他の目標は、計画通り実施でき目標達成となった。
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法令の順守状況は、法令で定められた通りの期限で届出、測定を実施し、順守状況の確認を毎月行っている。スクリーングループ全体の順守状況は、年2回管理統括者(経営層)、管理責任者へ報告している。 2010年4月に京都市内の1事業所で下水道法のノルマルヘキサ値(動植物油)が法的基準値の30mg/l(自主基準値: 25mg/l)に対し、75mg/l検出されたため行政への報告および指示(届出は不要の指示あり)を仰ぎ、対策を実施しました。5月以降は自主基準値以下に収まっている。その他については、違反及び行政からの指摘はなし。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	年1回マネジメントレビューを実施している。 2011年度からの中期3ヵ年経営計画「NextStage70」に合わせた環境安全経営中期戦略「グリーンバリュー21 フェーズII」(2011年度から2013年度)に従って新たに目標を設定した。 2011年度からは、環境・エネルギー、労働安全衛生のマネジメントシステムの統合運用を開始する。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。